政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 滝　久雄：株式会社ぐるなび総研代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		飲食業界に限定すると、ぐるなび加盟飲食店約３千５百店舗への１月の景況感調査の結果、前年同月比の景気動向指数（Diffusion　Index、DI）は８．７％を記録し、良好であった。
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	成長戦略をさらに加速させるため、法人税改革をはじめとする企業の稼ぐ力を後押しする仕組みの整備を進めていただく一方で、グローバル社会の中で、日本人の強みを活かした世界的競争力を持つサービスや製品を育てるべき。例えば、TPP（およびEPA）の早期妥結を前提に、世界一の品質を持つ「食」の分野での強みを活かし、日本産の食材・加工品の輸出を大きく伸ばすことにより、農漁業の産業化を進める。ITプラットフォームのさらなる利活用により、あらゆる産業において生産性を向上させる。マイナンバー制度の民間普及を前提に、日本人らしいきめ細かい新サービスや世界トップレベルのセキュリティシステムの開発を進める。地方創生に関連して、海外の観光振興事例を参考に、賑わいを創出するために公園や道路等の利活用を進める等。これらをいち早く実現させるための必要な規制改革を進めていただきたい。 地方創生に関しては、他にも期待を寄せるテーマがある。例えば、幼少期に旅の楽しさを体験させる「旅育」を国・地方自治体・民間が一体となって推進することによる、国内旅行需要の喚起。京都の「一見さんお断り」に代表される品質を重視した形での訪日外国人誘致等。江戸時代から藩単位で受け継がれる地域の個性・特徴を活かしながら、補助金ばらまき型にならないよう注意しながら進めていただきたい。 特区制度の活用も進めるべき。ロボティクスの分野で、グローバルの標準規格を取得した上で東京都の特区を使い、輸出拠点を作ろうとの動きが出ており、頼もしい限り。
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	好循環により求人数は実感として増えており、企業が必要な人材を確保するためにはこれまでにない工夫が求められている。女性の活用もそのひとつ。その流れの中で、非正規労働者への波及効果も必然的に期待できる。 一方で、中小企業については大きく2つに分類できると考える。ひとつは、グローバル社会の中で、ユニークな競争力を持つサービスや製品を提供する企業体としての価値。「保護主義」に陥るのではなく、彼らのユニークな活動を妨げるような規制を緩和する方向での取り組みを強化していただきたい。もうひとつは、地域に根差した、地元住民になくてはならないサービスや製品を提供する企業体としての価値。地方創生のメインテーマのひとつとして、取り組みを強化していただきたい。